

令和8年2月26日

各報道機関 御中

国立大学法人山梨大学

文部科学省支援事業 即戦力となる火山人材育成プログラム
『研究者・実務者を対象とした火山対策スペシャリスト養成研修』
コース3 『実務者人材育成コース』の令和8年度受講生募集を開始

以前公表した内容（令和7年12月1日付けプレスリリース「文部科学省支援事業 即戦力となる火山人材育成プログラム『研究者・実務者を対象とした火山対策スペシャリスト養成研修』の令和8年度受講生募集を開始」）に關しまして、さらに情報を追加し、改めて皆様にお知らせいたします。

・追加情報：コース3『実務者人材育成コース』の令和8年度受講生募集を開始しました

山梨大学は、文部科学省 令和6年度「火山研究人材育成等支援事業（即戦力となる火山人材育成プログラム）」の採択を受け、山梨大学大学院総合研究部附属 地域防災・マネジメント研究センターを中心に、山梨県富士山科学研究所、京都大学防災研究所、鹿児島市の参画のもと、「研究者・実務者を対象とした火山対策スペシャリスト養成研修」を実施します。

これは、令和6年4月の改正活火山法の施行に伴う火山調査研究推進本部の設置により、火山研究者・実務者のニーズの急増が見込まれることから、オンデマンド講義、オンライン講義、実地研修を通じて、火山や火山実務における実践的な知識と技能の習得を促進し、火山実務に関わる人材を育成することを目的とするものです。

本研修は、火山に関心のある学生や他分野の専門家・実務者を対象に、3つのコース（別紙資料参照）において、実践的な火山防災のスペシャリストの養成を目指します。

本事業につきまして、コース3「実務者人材育成コース」の令和8年度受講生公募を、令和8年2月26日（木）より開始しました。

※事業概要：別添資料参照

※募集要項：

【即戦力となる火山人材育成プログラム】

<https://desire.yamanashi.ac.jp/v-sep/>



別紙

【研究者・実務者を対象とした火山対策スペシャリスト養成研修】

●コース1 『大学院博士後期課程幹旋コース』

- ・対象：修士課程の学生、修士課程を修了した社会人
- ・特徴：火山や火山実務に関する博士課程進学を促進し、専門家を育成
- ・申請締切：令和8年1月30日（金）16時必着 **※公募終了**

●コース2 『共同研究コース』

- ・対象：火山学に関連する多様な分野の研究者（学生含む）
- ・特徴：公募型研究を通じて、実践的な研究の機会を提供
- ・申請締切：令和8年2月13日（金）16時必着 **※公募終了**
- ・研究期間：令和8年4月～令和10年3月末日

●コース3 『実務者人材育成コース』

- ・対象：自治体などで火山実務を担う実務者
- ・特徴：実地研修を通じて、火山災害に即応できる実務能力を養成
- ・申請締切：令和8年4月17日（金）16時（必着）

〈本件に関する問い合わせ〉

山梨大学地域防災・マネジメント研究センター

Tel：055-220-8671

E-mail：vsep-as@yamanashi.ac.jp

〈広報に関する問い合わせ〉

山梨大学総務企画部総務課広報・渉外室

Tel：055-220-8005、8006

E-mail：koho@yamanashi.ac.jp



文部科学省支援事業

即戦力となる 火山人材育成 プログラム

Volcano Specialist Education Program



研究者・実務者を対象とした火山対策スペシャリスト養成研修事業



概要

火山対応の実践的な学びの支援により、 火山防災・噴火対応の即戦力人材を 育成するプログラム

火山分野への新規参加者を募ることで、新たな研究分野・産業を開拓するとともに、全国の火山防災の総合的な向上につなげる

Course 01



大学院博士後期課程 幹旋コース

修士学生や社会人に対し、火山学や火山実務に関する学びの機会を提供し、博士後期課程への進学を支援する。

Course 02



共同研究コース

土木学・情報学・社会科学など、多様な分野からの火山研究への参加を促進するために、研究費助成を行い、共同研究を実施する。

Course 03



実務者 人材育成コース

実践的な火山災害対応が可能な実務者人材を育成するために、オンデマンド講座や実地研修等の受講により、火山学や火山対応実務に関する確かな知識の習得をめざす。

即戦力となる火山人材育成プログラム



Volcano Specialist Education Program



各コースの説明

Course 01

大学院博士後期課程幹旋コース

2026年度受講は2025年11月ごろ募集開始

修士学生や社会人に対して、火山学や火山実務に関する学びの機会を提供し、博士後期課程への進学を支援する。受講者ごとに希望する研究テーマ、進学先等の相談や、受験に必要な研究計画書のブラッシュアップをサポート。コース3のオンデマンド講座を受講することで、火山実務の知識とスキルを身につけた研究者をめざす。

▲ 1～2年以内の大学院受験を目指していただきます。

▲ オンデマンド講座の受講は任意です。火山対策士の資格取得のためには、別途コース3の受講が必要です。

Course 02

共同研究コース

2026年度受講は2025年11月ごろ募集開始

土木工学・情報学・社会科学など、多様な分野からの火山研究への参入を促進するために、研究費助成を行い、本事業実施機関との共同研究を実施する。他分野研究者の参入を募ることで、火山防災研究の裾野を広げ、多角的なアプローチから火山研究を促進する。

▲ 最大50万円×2年（最大100万円）の助成を行います。

▲ 書類選考後、公開プレゼンテーション審査を実施します（2025年度の採択課題はWebサイトを参照）。

▲ メンター制度の導入：研究テーマごとに専門家を配置するメンター制度を導入し、積極的な議論を通じて研究を進めていただきます。また、年度末ごとに成果報告書の提出および、報告会での成果発表をしていただきます。

Course 03

実務者人材育成コース

2026年度受講は2026年3月ごろ募集開始

実践的な火山防災業務や、火山災害対応が可能な実務者人材を育成するために、オンデマンド講座の受講により、火山学や火山対応実務に関する確かな知識の習得をめざす。さらに国内外の活火山地域での実地研修参加や受講者同士の交流を通じて、より実践的な技能を会得。火山災害軽減に資する対策を迅速かつ確に実施できる人材をめざす。

▲ 修了要件（詳細はwebサイト）を満たすことで、火山対策士(中級・上級)の称号が授与されます。

▲ 基本受講スケジュールとして、中級・上級それぞれ1年での修了を見込んでいます。2年で上級までの取得をめざしていただきます（※異動等の都合で1年でいずれの資格も取得したい場合は応相談）。

▲ 火山科学の基礎知識から、火山噴火時対応の実践的な知見まで網羅する、本事業オリジナルのオンデマンド講座を無料で受講可能です。火山防災分野のエキスパートによる、中級30講座、上級34講座の充実した講座で、最新の火山関連の知見を提供します。さらに、講座ごとに設定される確認テストの受講で、知識の定着を図ります。

▲ 2025年度実地研修開催地（実施予定含む）

山梨県/富士山（9月）・北海道/恵山（11月）・鹿児島県/桜島（1月）

研修参加費用は無料ですが、交通費や宿泊費は受講者の自己負担です。

オンデマンド講座サンプル動画



<お問い合わせ窓口>

山梨大学地域防災・マネジメント研究センター
研究者・実務者を対象とした火山対策スペシャリスト養成研修事業 事務局

✉ vsep-as@yamanashi.ac.jp

☎ 055-220-8671



応募詳細はこちら

V-SEP

<https://desire.yamanashi.ac.jp/vsep/index.html>